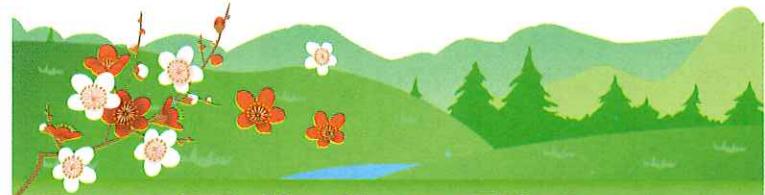




のどでまり



石川県農業会議だより

第361号 金沢市古府1丁目217番地 (-社)石川県農業会議 令和2年1月
電話 (076) 240-0540 FAX (076) 240-0544

- 農業者年金への加入を推進しよう
- 全国農業新聞・全国農業図書を講読しよう

令和2年

新春を迎えて



(一社)石川県農業会議

会長 山 田 修 路

令和最初の新春を迎え、謹んで
年頭のご挨拶を申し上げます。

農業者の皆様、関係機関・団体
の皆様には、日頃から農業会議の
事業推進につきまして、格別のご
理解とご支援を賜り心からお礼申
し上げます。

また、私になりますが、昨
年7月の参議院選挙に際し皆様方
の温かいご厚情により再び国会の
議席を得ることができましたこと
に対し心より感謝申し上げます。
石川をもっと元気にするため農業
振興はもとより石川の活性化に向

け全力で走り続けますので、引き
続き皆様方のご支援、ご協力をお願
い申し上げます。

さて、改正農業委員会法が施行
され農業委員・農地利用最適化推
進委員に対し「農地利用の最適化
の推進」が新たな責務となりまし
た。さらに今年度は、「中間管理
事業法」が改正され「人・農地プ
ランの実質化」への取り組みが明
確に位置づけられました。

本年が皆様方にとりまして、令

和の元号に込められた「それぞれ
の花を大きく咲かせることができ
る」希望に満ちた飛躍の年となり
ますよう心よりお祈り申し上げま
して、年頭のご挨拶といたしま
す。

農業・農村基本計画」の見直しが
行われております。この中の担い
手施策の一環として農業委員・推
進委員の「人・農地プラン実質化
のための積極的な取り組み推進」
方策が検討されるなど、私たち農

業委員会組織に対する期待や役割
が益々大きくなっています。
このため、昨年の農業委員会大
会で決議されましたが各市町の
「推進チーム」を主体的にリード
し、「人・農地プラン」の実質化
等への積極的な取り組みを通じ担
い手への農地の集積・集約化、遊
休農地の発生防止・解消、新規参
入の促進など農地利用の最適化を
的確に推進できるよう、関係各位
のなお一層のご支援・ご指導をお願
い申し上げます。



令和元年 7月以降の主な活動

農業委員会研修会・ 農地パトロール出発式

中田 芳夫・菅原 竹臣
(穴水町)
また、研修終了後、市町農業委員会と合同で農地パトロール出発式も開催され、開催地である金沢

(一社)石川県農業会議は8月6・7日に加賀地区(金沢市)及び能登地区(七尾市)で農業委員会研修会を開催した。県内の農業委員・農地利用最適化推進委員ら約500名が2会場に集まり農地利用最適化についての知識を深めた。今年は、人・農地プランの実質化を見据え、同じ県内で活動する農業委員・推進委員の活動を直接聞くことで、身近な問題や課題解決に向けた横展開を図っていくことを目的に事例報告とパネルディスカッションを行った。

事例報告者並びにパネルディスカッションのパネラーは次のとおり(敬称略)。

坂井 助光・村田 正明 (七尾市)	村田 正明(七尾市)
小川 廣行・大家 法師 (加賀市)	大庭 法師(加賀市)
井上 信一・酒井美代子 (津幡町)	パネラー



農地集積の取組事例報告とパネルディスカッション



農地パトロール出発式のガンバロウ三唱

市の山野之義市長、七尾市の岡野崇副市长からの激励ではじまり、農業会議から代表者へ農地パトロールの三点セット(帽子、腕章、マグネット)の授与と宣言文の朗読が行われた。加賀会場では、金沢市の米光かおる委員、伴美代子委員に三点セットが授与され、藤田礼子委員が宣言文を朗読。能登会場では、三点セット授与並びに宣言文の朗読を七尾市の橋本良子委員が行った。最後に、加賀会場は金沢市の井口栄市農委会長、能登会場は七尾市の坂井助光農委会長の发声でガンバロウを参加者全員で三唱した。

大会では株式会社ドロップの三浦綾佳代表取締役が「これからの中長期戦略」と題して基調講演し、全国農業会議所の柚木茂夫専務理事が農業情勢について報告した。



基調講演する株式会社ドロップの三浦代表取締役

石川県農業委員会大会

【全国農業会議所会長表彰】
▼永年勤続農業委員等
なお、大会で表彰されたのは次の皆さん(敬称略)。
【石川県知事感謝状】
小川廣行、東勇夫(以上、加賀
坂井 助光・村田 正明
(七尾市)
井上 信一・酒井美代子
(津幡町)
三原左喜男(内灘町)
松本米治(七尾市)、山崎覺治
(輪島市)、長谷一博(珠洲市)
三原左喜男(内灘町)



永年勤続農業委員等を表彰



輪島市で石川県農業委員会大会を開催

市町農業委員会の会長など24人が11月28日、東京都で開かれた全国農業委員会会長代表者集会の終了後、第57回石川県農業委員会大會で決議した「多様な担い手が営農継続するための支援」や「鳥獣被害防止対策の強化」などを求め、衆・参議院議員会館で県選出

◆ 大会決議事項を要請 ◆ 県選出国会議員へ要請

(11月28日)

敏晴（能美市）、小坂榮治（津幡町）、寺西護、生田勇人、廣瀬武志（以上、内灘町）、松田良計（宝達志水町）、諸谷照司、橋本雄晴（以上、穴水町）、末次芳幸（能登町）

▼ 出版事業推進優良農業委員会

【全国農業会議所会長表彰】
志賀町農業委員会、中能登町農業委員会

谷本知事（右から3人目）に要請書を手渡す
山田会長（同4人目）

石川県農業委員会大会での決議事項を谷本知事へ要請

市）、今本重蔵（かほく市）、又村一夫（能美市）、矢田富郎（津幡町）、宮本浩嗣（内灘町）、

【石川県農業会議会長表彰】 井上茂（能登町）

虎本重（金沢市）、坂井助光、加地俊隆（以上、七尾市）、新澤晟、森谷正美（以上、輪島市）、中村龍吉（珠洲市）、中村義隆（加賀市）、東友博、種本博、中村和博（以上、かほく市）、竹山武志（白山市）、竹本敏晴（能美市）、小坂榮治（津幡町）、寺西護、生田勇人、廣瀬武志（以上、内灘町）、松田良計（宝達志水町）、諸谷照司、橋本雄晴（以上、穴水町）、末次芳幸（能登町）

国会議員へ要請した。山田修路農業会議会長が要請の内容を説明した後、佐々木紀衆議院議員、西田昭二衆議院議員、近藤和也衆議院議員、岡田直樹参議院議員、馳浩衆議院議員代理、宮本周司参議院議員代理と意見交換を行つた。

◆ 石川県等へ要請（12月16日）

石川県農業会議の山田修路会長、矢田富郎副会長、又村一夫副会長、青年農業委員を代表して岡元豊農業委員（能美市）、石川県農業委員会女性協議会会长の二宮文枝農業委員（中能登町）が12月16日に県庁を訪れ、谷本正憲県知事と中

林勝利次長へ決議事項を要請し、意見交換した。なお、県選出国会議員と県知事、県議会議長などに要請した政策提案は、昨年6月から市町農業委員会、認定農業者等農業委員・推進委員協議会、石川県農業委員会女性協議会から幅広く意見を積み上げ、森澤敏哉局長、平岩裕規・小林勝利次長へ決議事項を要請し、意見交換した。また、同日に北陸農政局を訪れ、森澤敏哉局長、平岩裕規・小林勝利次長へ決議事項を要請し、意見交換した。

なお、県選出国会議員と県知事、県議会議長などに要請した政策提案は、昨年6月から市町農業委員会、認定農業者等農業委員・推進委員協議会、石川県農業委員会女性協議会から幅広く意見を積み上げ、

西吉明・竹中博康副知事、福村章県議会議長、徳野光春副議長、遠藤知庸県農林水産部長に「担い手の育成・確保」や「農業基盤整備の促進」、「鳥獣被害防止対策の強化」など県農業委員会大会で決議した項目について要請した。

げ、常設審議委員会において審議し、県大会で決議したものである。



森澤北陸農政局長らと意見交換

北信越ブロック女性の農業委員会研修会

北信越ブロック女性の農業委員会研修会が、10月17日・18日にかけて志賀町で開催され、北信越5県から女性の農業委員・農地利用最適化推進委員80名が参加した。初日の研修は農業者年金基金の西恵正理事長による講演、全国農業会議所の佐藤雄太氏から情勢報告、その後、10班に分かれてグループワークを行った。各グル



女性会員に説明するぶどうの木の本会長



グループワークで意見を出し合う参加者

で、「農地利用の最適化への取り組みについて」、「地域農業にどう貢献し、農業委員会の見える化

を進めていくか」、「さらなる女性委員の登用促進と資質向上に向けてどう取り組むか」について意見を取りまとめ、発表を行つた。

翌日は、金沢市の株式会社ぶどうの木の代表取締役会長である本昌康氏による取り組みについて話を聞き、施設の視察を行つた。

を進めていくか」、「さらなる女性委員の登用促進と資質向上に向けてどう取り組むか」について意見を取りまとめ、発表を行つた。

翌日は、金沢市の株式会社ぶどうの木の代表取締役会長である本昌康氏による取り組みについて話を聞き、施設の視察を行つた。

女性委員が積極的に活躍

県内の農業委員会の女性委員で組織されている石川県農業委員会女性協議会（二宮文枝会長）では毎年研修会を開催している。今年度も7月4日、8月29日に金沢市内で取り組み状況や悩みなどについて積極的に意見交換を行つた。取りまとめられた課題や意見は石川県農業会議が行う農業政策に関する提案に反映されている。

また、各地で地元の食材を使った料理教室を開催するなど、農業委員会の活動や女性委員の活躍についてPRを行うなど、活発な活動が行われている。

なお、今後も今年度3回目となる研修会の開催を予定しており、2月には県の農山漁村男女共同参画推進大会、3月には東京都で開催される女性の農業委員会活動推進シンポジウムに参加する。



県内3会場で行われた意見交換

第1回目は6月に、第2回目は8月に県内3会場で開催され、1回目で出された意見を2回目で掘り下げ、本県独自の要望書作成に取り組んだ。

なお、同協議会では関係施策や制度等の研修や農業委員・推進委員の活動に関する取り組みなどの意見交換も併せて行われた。

認定農業者等農業委員・推進委員協議会研修会

石川県農業会議は、市町農業委員会の委員で、かつ認定農業者ま

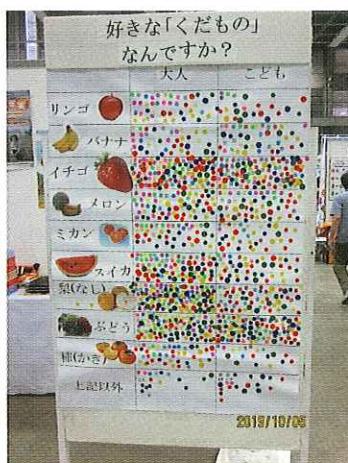
たはそれに準ずる農業者で構成された協議会を6月から8月にかけて開催し、政策提案の要望を集約した。

農林漁業まつりに出展 今年も盛況

石川県農業会議は、石川県農業委員会女性協議会と協力し、10月5日(土)・6日(日)に、石川



段ボール内の農産物を触って当てるクイズ



▶好きな果物アンケートでシールが貼られたボード

の農林漁業まつりにブースを出展した。

毎年恒例の農産物当てクイズは今年も好評で、家族連れや子供たちがはしゃぎながら段ボールに手を入れて、中の野菜当てに挑戦していた。また、シール貼りアンケートでは、個々に自分の好きな果物の欄にシールを貼っていた。

人・農地プランの 実質化に向けて市町巡回

石川県農業会議は、県農業政策課と連携し、人・農地プランの実質化に向けた取り組みが円滑に実践されることを目指し、市町を巡回し市町農政部局・農業委員会職員と意見交換を行った。

中間管理事業法の見直しに伴い、9月に人・農地プランの実質化に向けた行程表が公表され、各市町では農政部局を中心に農業委員会、JA等が支援チームとして協力体制をとり具体的な活動を行う事となる。

同法の見直しの中で、農業委員会はプラン実質化に向けた意向調査や話し合いへの積極的参加などを明記され、農地利用の最適化を推進し地域農業の振興・発展に大きな期待が寄せられている。

経営管理能力向上研修会

石川県農業会議は、いしかわ農業総合支援機構、農林総合事務所と連携し、令和元年11月から令和2年2月まで農業経営管理能力向上研修会を開催している。前期(複式簿記の基礎、パソコン簿記導入操作、税務)研修は12月末で全て終了し、1月からはパソコン簿記の決算研修(後期)が開催される。なお、会場は各農林総合事務所・農林事務所となつていて。

市町農業委員会の 活動紹介

能美市農業委員会

能美市農業委員会は、平成29年4月に新体制に移行し、農業委員14名、農地利用最適化推進委員12名の、計26名で構成されている。

当市は、農地の約9割が平地、1割が中山間地域であり、それぞれの地域によって農地の利用状況や営農類型が異なっていることから、地域の実態に応じた取り組みが必要となつている。

毎年7月と10月には農業委員、農地利用最適化推進委員、事務局と市農林部局で、農地利用状況調

査を行つており、近年は土地所有者への管理意識が高まり、遊休農地の発生防止・解消に向けた効果が着実に出てきている。

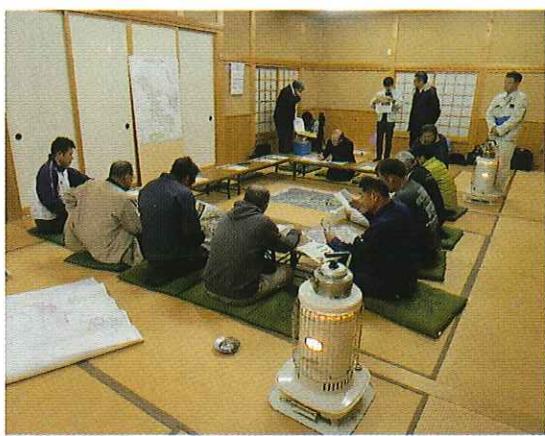
その他、昨年の1月と6月には、農業委員、農地利用最適化推進委員が、農地利用最適化に向けた取り組みについて勉強会を実施している。

今年4月に改選を迎えることから、農地所有者等に対し、利用意向調査の実施や人・農地プランの見直しに係るモデル地区の設定などについて検討していく予定である。

また、能美市は、昨年度末で集積率が74%を超えていくことから、集積のみならず集約についても考えていく必要がある。



パソコン農業簿記の前期講座



農地集積にむけた集落での話し合い

8月に省内最後に新体制に移行し、農業委員15名、農地利用最適化推進委員15名の計30名で活動を行っている。

新体制への移行時には全委員の2／3が新委員となつたことから担当地区の把握に重要な農地利用状況調査も11月末に2度目の調査が終了し、現在は意向調査に

これからも、引き続き、遊休農地の発生防止・解消、担い手への農地利用の集積・集約化、新規参入の促進に向けて、農業委員・農地利用最適化推進委員が一体となり、積極的に活動に取組んでいくことが重要であり、更なる最適化活動の促進を図っていく。

■輪島市農業委員会

輪島市農業委員会は、平成30年

向け準備を進めている。

今年度は人・農地プランの実質化が課題であり、9月末に行程表を作成し、農林水産課・奥能登農林総合事務所と推進チームを結成し、今後の活動について協議して

事業活用の掘り起こしのため地区内で勉強会などを開き、集落の区長さん方と意見を重ねている。

今後については、今年度中には

シケート調査を行い、各集落を基に本とした区域で話し合いを行い、人・農地プランの実質化を進めていきたいと考えているが、話し合い活動が初めてである委員や各種

事業など、きっかけがないため取り組みにくいといった意見があることから、まず令和2年度から新たに5期対策が始まる中山間直接支払交付金の集落協定に伴う集落での話し合いから進めていきたいと考えている。事務局としても委員と一緒に取り組んでいきたいと考えて

り組みにくいといった意見があることから、まず令和2年度から新たに5期対策が始まる中山間直接支払交付金の集落協定に伴う集落での話し合いから進めていきたいと考えている。事務局としても委員と一緒に取り組んでいきたいと考えて

常設審議委員会の審議状況

月別件数

開催日	意見聴取した委員会数等	意見聴取事案件数		農地区分					市街化区域
		第4条件	第5条件 うち一時転用	農振農用地	甲種	第1種	第2種	第3種	
平成31年1月15日	4委員会	6	(2)	3		3			
2月12日	8委員会	1	13 (2)	4		6	1	3	
3月11日	7委員会		11 (5)	2		4	1	3	1
4月15日	3委員会		3 (1)	1		2			
令和元年5月13日	3委員会		3 (0)		1	8		1	
6月10日	6委員会	2	7 ※(4)	6	2	1			
7月12日	5委員会	1	7 (3)	1		3	2	2	
8月9日	5委員会		8 (4)	3		3			
9月9日	6委員会		9 (3)	2		3		4	
10月11日	8委員会	1	13 ※(1)	1		9	2	2	
11月11日	5委員会		8 (2)	2		6			
12月16日	5委員会		8 (1)	1		7			
計		5	96 (21)	26	1	56	2	17	1

※ 営農型発電設備 1件 含む

注1) 1事案の農地区分が分散している場合、優良性の高い農地区分に含めた。

2020年1月～8月までの主な行事

開催日	会議・行事名		開催場所
1月	8日(水)	女性農業委員登用促進研修会	～9日 東京都
	10日(金)	第46回常設審議委員会	県地場産業振興センター
2月	7日(金)	都道府県農業会議会長会議	東京都
	10日(月)	第47回常設審議委員会、理事会	県地場産業振興センター
	18日(火)	市町農業委員会事務局長会議	J A教育センター
3月	5日(木)	第16回女性の農業委員会活動推進シンポジウム	東京都
	12日(木)	全国農業会議所臨時総会	東京都
	16日(月)	石川県農業会議臨時総会 第48回常設審議委員会	県地場産業振興センター
	4月	13日(月)	第49回常設審議委員会
5月	11日(月)	第50回常設審議委員会 石川県農業会議理事会	県地場産業振興センター
	6月	2日(火) 15日(月) 農業会議臨時理事会 第51回常設審議委員会	東京都 県地場産業振興センター
7月	15日(水)	第52回常設審議委員会	県地場産業振興センター
8月	6日(木)	加賀地区農業委員会研修会	小松市
	7日(金)	能登地区農業委員会研修会	穴水町
	11日(火)	第53回常設審議委員会	県地場産業振興センター

※11月20日(金) 第58回石川県農業委員会大会(白山市)